

第4回美里町立小学校適正規模等検討委員会概要録

招集期日	令和2年11月27日(金)
招集場所	美里町役場 2階 201会議室
開会閉会	開会 午後2時30分 閉会 午後4時10分
出席委員	委員長 松本 浩 副委員長 鈴木 峯一
	委員 茂木 智孝 委員 山崎 香苗
	委員 関口 典夫 委員 橋本 英和
	委員 丸山 耕一 委員 中沢 一剛
	委員 清水 奈津子 委員 小林 健治
	委員 堀内 晴美
欠席委員	委員 関口 勝己
説明のために出席した者	教育長 南 幹生 事務局長 丸山 陽一
	主席指導主事 門倉 正人 指導主事兼係長 下田 裕美
	主査 中山 裕紀
傍聴人	3人

次第	顛末	
1 開会	事務局	
2 あいさつ	教育長	<p>今回は、公立学校では県内唯一の小中一貫校である坂戸市立城山学園の視察報告、そして、第1回検討委員会から話題となっている複式学級について、実際に複式学級を行っている皆野町立三沢小学校へ視察を行ってきたので、その報告をする。</p> <p>毎回お願いしていることだが、「将来の美里町を背負って立つ子供達にとって、望ましい学校教育環境は何か」、「その望ましい学校教育環境の中で、どのような教育を進めたら良いか」等の視点で検討・協議を進めていただきたい。</p>
3 議事	事務局	進行については、委員長にお願いする。
	委員長	前回会議の概要録について、事務局の説明を求める。
	事務局	第3回会議の概要録については、委員から署名をいただき、承認済みなので報告する。

委員長	(1) 坂戸市立城山学園の視察報告について、事務局の説明を求める。
事務局	<p>・【資料1】城山学園学級数・児童生徒数表</p> <p>10月23日(金)の坂戸市立城山学園の視察について説明する。</p> <p>坂戸市立城山学園は、既にある小中学校を組み合わせ教育を行う、小中一貫校である。学校の立地によって施設形態が分かれるが、城山学園は施設一体型で、敷地内に新設のプレハブ校舎を建てて教育を行っている。</p> <p>本日配布した、【資料1】は、城山学園の基本情報だが、全校児童128名、全校生徒79名、各学年とも1クラスの学校で、小学校1校、中学校1校を統合した一貫校になる。校長を含め、7名が小中学校を兼務しているが、教科担任ではなく、非常勤講師や校務員が兼務している状況である。中学校の教科によっては小学校の授業に参加できるようだが、時数の多い教科については、担当教員が1名しかいないため、なかなか難しいようである。</p> <p>まず、4年生がどのようにリーダーの役割を果たしているかということだが、1年生の対応を4年生が行うようになっている。担任の指導だけではなく、学校における注意事項は、学校給食紹介、本の紹介等を自主的に行いながら自然とリーダー性が育っているとのことだった。また、1期の1年生から4年生のみ、縦割りで清掃を行っているそうである。</p> <p>理科・英語・算数の授業形態については、5・6年生の理科の授業に関しては、中学校教員が補助として入っている。英語は中学校教員が1名しかいないため、市費の非常勤講師とALTを雇い対応している。算数も常に中学校の教員が入ることは難しいようだが、空き時間に応じて入ることもあるそうである。</p> <p>小学校教員と中学校教員が連携するにあたって</p>

の課題は、やはり、打ち合わせ時間の確保が難しいようである。小学校教員は放課後、中学校教員は空き時間と、職員室にいられる時間が基本的には違ってしまふことが原因の1つようだ。中学校教員は放課後に部活動がある。

8・9年生の2年間での進路指導については、主にブロック朝会で進路指導を行っている。8年生も中だるみという現象は起こっていないようである。

部活動に入れる学年は、5年生からということだが強制ではない。保護者の了解があれば土・日の部活動にも参加できるようである。ただ、通学班の関係もあるので、朝練習には参加しないというように決まっているようである。そうすると、大会の参加はどうなるのかということだが、中体連に中学生のみが参加することになっているようである。

学校としての課題は、少子化がすごく進んでいるという事、また駅から遠いという立地的な事の話があった。

また、小中の文化の違い、それは学校としての文化の違いだが、そういうものが意見の相違として教員から出てくる事はあったそうで、開校当初見られたようだが、今のところ見られなくなって、よく話し合いや会議を一緒にやるようになったので、意思疎通ができるようになってきたという話だった。

続いて校舎の様子だが、同じ敷地内にプレハブ校舎を新設して建てて、1年生から4年生までがそこで学習しているということである。元々小学校のあった場所を拠点とするか、中学校のところを拠点とするかが一番大変な問題となったそうだが、施設の大きさを考えると、中学校のところを使うのが良いだろうという事で、中学校の施設を使っている。ただ、そうすると、水道の高さやトイレの大きさ等が小学生には合わないということで、新しいプレハブ校舎を建てている。見た目にはプレハブ校舎という感じでは全くなかった。廊下を新設して中学校の校舎から直接繋がるようになっているようである。教

	<p>室も元々小学校にある机を持ってきて、広くきれいな状態で使われているようであった。</p> <p>図書室は、新設したプレハブ校舎に1年生から4年生用に作られていた。1年生から4年生が読める本をそこに集めていて、中学校の校舎には少し高学年が読めそうな本を持って行って、元々あった中学校のものと一緒をしているという話だった。</p> <p>東校舎というのが元々あった中学校の校舎になるが、どちらかと言うと廊下が広く大きく造ってある。表札の8年生は美里町にはないものである。</p> <p>この後、6年生の理科の授業の様子をビデオ撮影してきたので、ご覧いただきたいと思う。</p> <p>白衣を着ているのが中学校の教員である。教育実習生もいたので、人数が多いが、実際には2名の教員が実験・授業をしている。</p>
委員長	質疑、意見
委員	城山学園視察・報告について、課題として抱えている「小、中の文化の違い」について詳しく教えていただきたい。
事務局	前の質問にもあったが、例えば、教員が職員室にいられる時間であるとか、1つの教科を教科担任だけが授業をする中学校と、担任がほとんどの授業をする小学校という点で、子供の見方等に対する考え方が少し違っていた話はあった。
委員長	【資料1】の児童・生徒数で、小中一貫校は7・8・9年生が中学校になる訳だが、人数が22・22・35名。この城山学園は、中学校の部活動の数や教員の数を中心にかなり考慮したのか。この辺のところでは課題があるとか、中学校で課題が出たとか何かあったか。
事務局	城山学園と書かれた資料の一番最後のページのところに部活動名が書かれたところはあるが、部活動について、少なすぎるなどという話は、特になかった。
委員長	私がなぜこんな質問をしたかと言うと、小中一貫

	<p>校にしても1学年1クラスは変わらずに、9年間ずっとクラス替えをしないでいってしまう。なおかつ、中学校は統合される訳ではないので、人数が少ない。当然、部活動の数は少ないし、部活動があったとしても1つの部活動の人数が少ない。競い合うというのは、部活動の良いところでもあり悪いところである訳だが、市内の大会に出てもきついだらうと予想される。この状態が、城山学園は長く続くのだろうかと逆に心配になる。その辺、校長・教頭や教育委員会が心配しているなどの話が出なかったか。</p>
事務局	<p>人数については、本当にどんどん少なくなっているというので、心配をしていた。部活動で競い合えないかというマイナス面については、聞き取ってはいないが、1クラスですつときているけれども、まとまっている、良い意味でのまとまりの話は、校長先生から沢山いただいた。</p>
委員	<p>校舎の事だが、パンフレットの一番裏の校舎配置図で西校舎（1年生～4年生）が窮屈な所に建てられているという感じがしていて、本当だったら1年生から6年生が1つの校舎の中にいるのがいいのかなというのが1つと、校舎がどのくらいの広さで価格はどのくらいかかっているのか、もし聞いてきていれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>校舎の件については、この配置図からいうと窮屈な感じがするという話だったが、行ってみての感想としては、それ程窮屈に感じなかった。</p> <p>1年生から6年生までにした方がというお話もあったが、それについては特に校長から話はなかった。</p> <p>プレハブ校舎の価格は、だいたい1億円位と聞いている。</p>
教育長	<p>おそらく西校舎は1年生から4年生の教室だけということで、1年生から4年生が使う音楽室、理科室、図工室など特別教室は、全部東校舎で、中学</p>

	校と一緒に使っているという事でよろしいか。
事務局	その通り。
教育長	1年生から4年生の西校舎の子供達が、東校舎の方の特別教室で勉強して、西校舎に帰っていく取り組みをしているという話を聞いたので、付け足して話をした。
事務局	もともと設置するのにあたって、トイレや水道は高さというのが大きな問題になっていて、小学校5年生以上であれば、おそらく中学生と同じサイズ感で使用可能であるが、1年生から4年生までは非常に難しいということで、新たにプレハブ校舎を造ったということである。先程見積りで1億円位と話を出したが、私も話を聞いてびっくりした。机・椅子・エアコン全て含めて、レンタル一式で10年間1億円だということで、建物だけではなく備品も含めて、全て10年間その価格とのことである。
委員長	(2) 複式学級について、事務局の説明を求める。
事務局	<p>【資料2-1】 適正規模 学級数・児童生徒数表 【資料2-2】 三沢小学校時間割</p> <p>複式学級というのが、何となく皆様の中で想像しながらいろんな事が進んでいくところがあったので、複式学級の視察を行った。実際私も複式学級を教えた事がないので、聞いてみて改めて苦慮しているところであるとか、課題を再認識した。前段階のところを振り返りながら話をします。</p> <p>第2回美里町立小学校適正規模等検討委員会の資料の中で、配布済みの【資料1-1】で平成27年1月27日文部科学省から出されている「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」があったと思う。後でまた確認していただきたいが、11ページに【1～5学級：複式学級が存在する規模】おおむね、複式学級が存在する学校規模。学校全体の児童数や指導方法等にもよるが、一般に教育上の課題が極めて大きいため、学校統合等によ</p>

り適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。地理的条件等によって統合困難な事情がある場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策や緩和策を積極的に検討・実施する必要がある。と書かれている。ここでいう教育上の課題については、6ページから11ページにわたり書かれている。

まずは、小規模校のメリットについて、34ページに書かれている内容だが、この中には、少人数を生かした指導の充実について、9点のメリットと9点の施策が示されている。しかしながら、少人数を生かした指導の充実についての④のところで「複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる」と書かれているが、非常に難しい。つまり、先生がいない間、子供達がお互い学び合っているというメリットを国が言っているのだが、これは非常に難しいと視察をして感じた。ただ、メリットを最大限に生かすことによって様々な取り組みを行うことが出来るのではないかという事も併せて書いてある。

続いて、6ページに記載してある（学級が少ないことによる学校運営上の課題）児童生徒数や教職員数が少なくなることによる影響も含め学校運営上の課題を14点指摘している。この中で、3点指摘していきたいと思う。

③加配なしには、習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくい

⑤運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる

⑬児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる

特に、⑬に関しては、5人くらいで授業をやっている様子を見てきたが、子供達の中で5人の考えの中だと全く正解が出ずに、少し間違った考えの方向に引っ張られつつ全く意図しない方向にずっと話

が進んでいく。

このことから、皆野町立三沢小学校の視察について説明をしていく。

【資料 2-1】まず、三沢小学校だが、全校児童 35 名である。3・4 年生、5・6 年生の 2 箇所のところ複式学級をとっている。教員数のところは、上段に県費、下段に町費である。県費職員 12 名とあるが、2 年 1 組の担任が初任者で、初任者の指導のために拠点校指導教員が来ているので、子供達の指導等のための教員ではない。実質 11 名ぐらいで学校をまわすことになっている。

しかし、指導内容によって他学年で指導することが困難な部分があることから、非常勤講師（複式解消）、エキスパート教員、学校教育指導員兼理科実験観察アシスタント、小学校英語指導員の 4 名に関しては、町費で派遣している。

参考までに、時間割を示した方が分かりやすいと思ったので、時間割を【資料 2-2】で示している。まず、この中で塗りつぶされている黄色が合同授業を行っている授業になる。1・2 年生で合同、3・4 年生で合同、5・6 年生で合同というふうに、2 つの学年にまたがって指導をやっている体育、学級活動、道徳、総合というものがある。

それから、専科というピンク色で示されているものについては、担任の先生以外が授業を行っている教科になる。それぞれの先生の得意分野があるので、その年によって組み替えるそうだが、担任以外の先生が持つ授業がこのピンク色で塗りつぶされたものになる。

それから最後になるが、青で塗りつぶされた部分は、町支援教員が受け持っている授業となる。つまり、町から支援を行わないとこのコマは成り立たないということである。このような状態になった時には、4 名程町費で雇って行って、その授業を教える先生を作っていないとなかなか困難なところが発生する。意外と青のコマの多さに結構びっくりす

と思う。

この後はスライドを使って説明する。

6年生がどのようにリーダーの役割を果たしているかという事だが、他の小学校もやっている通り、縦割り班で清掃を実施している。

理科・英語・算数の授業形態についてという事だが、国語・算数については担任の先生が授業をしているが、それ以外は、教科担任制というイメージでしてもらえればと思うが、国語の時間においても、例えば、3・4年生のところで違う先生がやっているの、3年生が月曜日の1時間目に授業をやっている時、4年生の授業は教頭がやるというように国語は組になっている。また、違う先生があたっているクラスもある。

2つ目として、町費で1日7時間の非常勤講師1名、週2日のエキスパート教員(音楽)、それから学校教育指導員兼理科実験観察アシスタント1名、小学校英語指導員1名を配置している。

その他に美里町でも雇用している学習支援員2名、これが週3日6時間勤務という事である。教え方のところで、特別活動と道徳は合同で行う。特に道徳のところ、順番を一緒にやろうとすると問題が起こってくるが、5・6年生が合同で道徳をやろうという事になった時にどのようにやっているかと言うと、5年生は6年生の教科書を持っているそうである。2年間をかけて2冊というようにしている。道徳は、5年生の教科書を使ったり、6年生の教科書を使ったりで、2年間の計画でやっている。

複式学級を取組という事で、ちょっと心配なことの話も聞いてきた。平成24年より複式学級を実施してきたそうで、平成25年より2クラスが複式学級、平成26年から28年は、2クラス実施という事で、今は固定して3・4年生で複式、5・6年生で複式にするという方針を決めたそうである。なぜかと言うと、5・6年生と3・4年生のところで固定しておけば、クラスの半分がクラス編成をし直し

たのと同じ効果が得られるであろうと。今年は上の学年と一緒に組んでいるメンバー構成が、下の学年と一緒に組んでいるメンバー構成として、多少なりともクラス編成をしたような、メンバー構成が変わる効果も考えながら固定をしているという事だが、令和4年、再来年には全部複式学級になるそうである。という事で、単独の学年でやる学年がなくなるというふうに言っている。

「複式学級を行う上での配慮事項について」は、教育の質を落とさないための工夫をしているという事で、積極的な外部指導者の活用を行っているそうである。先程も説明申し上げたが、1クラスの人数が少ないため、なかなか話し合いがうまくいかないというところがあるそうである。

「クラブ活動に入る学年について」は、通常は4年生からだが、通学班がなかなかうまくいかないそうである。子供の数が少なくなってきていて、帰りも危ないので、一緒に帰す目的で3年生もクラブ活動を行っていくという事である。

また、【資料2-2】のところで、木曜日の6時間目に放課後子供教室というのが入っている。これも、下校時間を揃えるために、放課後に学校に子供達を残して、町雇用の先生に自習や宿題をみて、みんなと一緒に帰れるように工夫をしているという事である。それが木曜日の6時間目の1・2・3年生である。

今、スライドで見ているのは、左側「学級目標」で、5・6年生の学級目標である。一番右に6年生のスローガンが入っている。1クラスあるが、5年生の教室と5・6年生で別にやる教室を2クラス準備している。同じクラスの中に5・6年生がいる訳なので、時間割だけだと子供達がよく分からなくなってしまって、こういうふうに授業が変わりますよと、毎日ボードで確認しているそうである。

5・6年生が同じ算数を行っている時間で、南側の教室では5年生が授業をやっている。これが、5・

	<p>6年生の一緒の教室なので、席に座っていないところがあるが、その子は、向かいの教室の右側のところに6年生として別の教室の所で座って授業を受けている。だから、実際には5年生と6年生は、別に授業をやっている。</p> <p>私自身も経験としてなかったところがあったけれども、ただ、複式学級を運営する上では、先生方も子供達も、関係性に非常に大きな工夫がいるように感じた。</p>
委員長	質疑、意見
副委員長	<p>先程から小中一貫校の話、複式学級の話があった訳だが、この会議は小中一貫校を考えての会議なのか。たぶん小学校3校をどうするかのための会議なのかなと思うが、教育長、小中一貫校を最初に考えるのか。</p>
教育長	<p>議会の一般質問でも、今後の美里町の小学校についてどのような方向性を考えているかという質問があった。様々な形態があると思うが、小中一貫校等も含めて色々な学校の在り方について研究していく適正規模等検討委員会を作っていきたいと答えた。小中一貫校ありきという事ではなくて、小中一貫校も含めて色々検討していくというスタンスで考えている。</p>
副委員長	<p>小学校3校を統合した方が良いのか悪いのか、先程の事務局の話にあったとおり、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」にメリット・デメリットが非常に詳しく書いてある。</p> <p>複式学級をやる事によって、例えば、1・2年生の複式学級であれば、どこに照準を合わせたら良いか。1年生に合わせれば2年生は物足りない、2年生に合わせれば1年生は難しすぎる。では、真ん中はどうかというと、中途半端になってしまう。そういう事を考えると、複式学級で授業をやるという事は、個々には目が行き届くかもしれないが、なかなか難しいという事が文部科学省の資料に出ている。</p>

	<p>4ページあたりから10何ページまでずっとデメリットで、メリットは、3～5ページしかない。そんな状況もあるので、文部科学省の資料をよく分析・理解して、美里町の小学校はどうするべきか、統合するべきなのかそうではないのか、これからの少子化等も踏まえて、地域とともにある学校づくりを考えていかななくてはならないのではないかと思う。</p> <p>そういった意味では、メリット・デメリットをよく分析して、やっぱり美里町としては今の状況だと子供の数は減っていくから統合せざるを得ないだろう、遠くから来る子供についてはバス等の利用も考えなければならないだろう、といった問題に発展していくと思う。小学校を統合となった場合に初めて、どこに学校を作って中学校と一貫にするかどうしていくかということに進んでいくと思う。</p> <p>当面は、メリット・デメリットをよく分析して、美里町の学校はどう進むべきなのかということを考えるべきではないかと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>複式学級というような形で学校を残すためには、町の教育委員会がそれなりの人を確保しなければならない。また、人を確保するだけでなく、指導の工夫といった事もかなりやらないと、この三沢小学校のようにはならない。三沢小学校でさえ令和4年度には、1年生を含め低・中・高、3つ複式学級になってしまうという状況である。</p> <p>1回目の会議の時、この美里町の小学校の生徒数を見たが、1年生から6年生まで全部2桁である。そして今後はもっと減っていくと。2桁というのは、90人台、80人台、70人台だが、現在の40人学級でいうと2クラスないし3クラス。全部合わせてもちょうど標準学級ぐらい、これが実態である。となると、今後、美里町の子供達がどんな教育環境の中で教育を受けるのが良いのか、また財布の中は、打ち出の小槌を振ればザクザク湧いてくる訳ではないので、有効に使うにはどうしたら良いか、</p>

	<p>その辺のところも皆様に知恵を出してもらわなくてはならないかと思う。</p> <p>この複式学級の話聞いて何か感じることはあるか。</p>
委員	<p>複式学級の大変さを知った。いろんなところからのサポートがないと成り立たない。</p> <p>質問だが、複式学級というのは、1・2年生で1個、そこは最低ラインなのか。1・2・3年生で1学級にはならないのか。</p> <p>あと、三沢小学校は統合の話はあがっているのかどうか。</p> <p>また、小中一貫校の坂戸市立城山学園だが、前の話だと、学校を残したいという事でこうなっているということだったが、合わせてもこれだけしかないのかと思った。10年間は、リースという話だったので、もしかすると、10年後は他の学校と統合の話は出ているのか。</p> <p>それぞれの学校の課題はあるのかという事と、複式学級は2学年までしか広がらないのか。あるいは、すごく少なくなったら、小学校全体で1学級とか2学級にならないのか。</p>
事務局	<p>まず規模の問題だが、国の方の文言をそのまま取ると、2学年合わせてという形となっているので、2学年になるかと思う。</p> <p>1年生のところは、1年生を含めて8名ということがあるので、8名以下であれば1学級ということになる。1年生を含めなければ、16名となる。そのところで、あまり人数が減ってきてしまうと、今の三沢小学校だと5名前後ということで推移しているんで、1・2年生がここから少なくなっていくと、3名という年も出てくると言っていた。</p> <p>それから、三沢小学校の統合の検討について、事前に取材したところによると、皆野町は予定がないそうである。</p> <p>皆野町の三沢小学校というのは、地域と共にある</p>

	<p>学校で、PTAの役員は全員だそうである。何かの行事をやるとみんな出てきて、みんなで手伝っている。出て来ない家がないそうである。</p> <p>子供達が何かをしたいというと、例えば、作ったものを売りたいとかあれば、近くの道の駅に出店をさせてくれて、販売の体験をさせてくれたりとか、そういった地域ぐるみで子供達を育てていこうという独特の地域である。他の地域とは、保護者の考え方、関係性もかなり違うと伺った。保護者の協力体制なしには、多分その学校は成り立たないのかなと感じた。</p> <p>本当に保護者の方々がすごく参画している学校である。特に三沢小学校については、正面の校名のプレートが古くなってきてしまったので、コミュニティスクールが中心になって新しくしたということで埼玉新聞に記事があったと思う。本当に何かあると、地域ぐるみで協力体制を敷いて労を惜しまない。今、複式学級においても、その存続が図られていると思う。</p>
事務局	<p>続いて、坂戸市立城山学園だが、三沢小学校と同様に学校応援団の方の協力が非常に素晴らしいという話があった。写真には載っていないが、中学校の校舎の所に遊具がなかったにもかかわらず、小学生が来るからという事で、手作りのモニュメントを沢山作ったという事で、地域で子供を育てていきたいという思いがすごく強いという話があった。そのため、今後統合という話はないようである。</p>
委員	<p>三沢小学校の Google を調べていたのだが、相当な山間部だという所が確認できた。また、町中には皆野小学校がある。先程、統合の話が出たが、地域性が最優先だと思った。現状、考えてみたら、説明の中で令和4年には全学年複式学級という、想像も出来ないような、テレビで1度か2度見たぐらいの小学校の映像が頭の中をよぎった。元をただせば大人が決定した事だが、私は、副委員長の話を聞いて、非常に重要な会議に出ていると改めて感じた。また</p>

	考え方を一層深めて勉強して、皆様と色々な意見を出し合っていかななくてはいけないという気持ちになった。
委員	埼玉県から他県へ。美里町から考えて一番近い所がどこかやっていないかどうか。何か思い当たるところはあるか。
事務局	同時期に始まっている神川町が近くで、小学校をどうするかという動きがある。 だんだん色々な地域で、水面下で議論が始まっているが、おそらく表向きには予定なしと答えている所においても、教育委員会の中で、もしかすると考えているかもしれない。
委員	埼玉県外で、美里町ぐらいの規模で、一番近くでやっている所はどこか。全国的で。
事務局	調べて回答する。
委員	一番近くでやっている所が一番参考になるかと思う。
委員長	私はそういう担当にかつて勤めていて、埼玉県は人口が意外と減らなかった。子供の数も急激に減らなかったという事で、これまで学校の統廃合は進んでいなかった。でも、全国的に見ると1年間で1,000校という規模で統廃合が進んでいる。埼玉県以外の所では、特に、北海道・東北・九州・四国、は多い。町で1つとか、そういうふうな感じでやっている所は多い様である。全国を見るとここに近い例は出てくるのではないかと思う。
委員	感想だが、皆野町の三沢地区は人口の非常に少ない所だと思う。小学校が残らないと、地域全体が崩壊してしまうという政治的なこともあって残ったのかなと思う。たぶん、そういうことというのは、日本全国どこの地域でも起こりうることだと思う。美里町がいつそういうふうになるかということ、今から考えるのは重要なことだと思う。私がいつも気にしているのは、お金はどのくらいかかってしま

	うのか、庶民の立場で気になっている。三沢小学校には町費負担の教職員が4名いて、それはどのくらいかかっているのか気になる。
事務局	人数の話はしたが、費用の話はデリケートな問題なので、聞ける範囲内で確認しようと思う。
委員	皆野町は何校小学校があるか。皆野町の人口は、1万人くらいで美里町とほぼ同等の人口数、イメージ的には美里とあまり変わらないと思われるが、その辺はどうか。
事務局	皆野町には、皆野小学校・国神小学校・三沢小学校の3校がある。5月1日現在、皆野小学校の全校生徒数は326名で、国神小学校は73名。国神小学校について、1年生から読み上げると9名・12名・16名・11名・17名・8名というように、もう少しすると複式になる可能性が出てくるかなという状況である。三沢小学校は既に複式になっているが、皆野小学校だけが326名で、1つの学年約50名前後なので、2学級並行になる規模である。縦に子どもたちの数を見てみると、3校合わせて大体70名前後で、将来中学校に上がっていくだろうというふうに考えると、大体2クラス並行という学級規模である。
委員長	補足だが、皆野町にはもう1校、金沢小学校があった。荒川を挟んで南側に皆野小学校と三沢小学校、北側に国神小学校と金沢小学校があった。皆野町もどんどん子供の数が減ってきてるので、何とかしなければということで、いろんな考えを取ったらしいが、その中でまず実現したのが一番少なくなってしまった金沢小学校と国神小学校の統合ということだったようである。これは荒川を挟んで北側を1つにまとめた。南側でも実は話が出たが、地域の方々がしっかり守るから何とか残してほしいということで三沢小学校は残ったという経緯があるようである。今言ったように、国神小学校もすごく少なくなってしまう、三沢小学校も少なくな

	<p>ってしまっているということを考えると、次の段階に入ってくるのかなという感じがしないでもない。おそらく皆野町も、ここと同じようなことは考えているのではないかと思う。</p>
委員	<p>統合について、大沢小学校は既に少子化で、児童が少ない状態でやっていて、メリットとデメリットを知っているので、母親からすると統合したい。私の意見としては、してほしいと思う。人数が少ないので、クラス替えがない。人数が少ないと、教育上は先生に細かく勉強を習えるので、できない子がいると集中的に教えてくれたり、メリットはとてもあるが、この前、持久走大会で1・2年と一緒に、3・4年と一緒に、5・6年と一緒に同じ距離を走る。1学年違うと体力差もあるが、一緒に走らなければ人数が少ないので、そうやって競わせるが、もっと友達がいたら違うのにとか、複雑な思いで毎年見ている。</p> <p>ただ、統合については、少子化なのでしなければならぬことだと思っているが、東児玉・松久・大沢の各学校の地元の方が、統合の話し合いをしているのを知らない。会議に出ている人は知っているが、地元の方は結果報告を受けることになると思うのだが、地元の方の意見を聞いて最終判断となると思うが、今時点では一切聞かないのか。</p> <p>やはり自分の小学校がなくなるというのは嫌だと思ふ。やはり、地元の小学校が存続してほしいという気持ちは皆さん各地区ごとにあると思うが、直面しているのは少子化なので、そこら辺を事前に今の時点で聞かなくてもいいのだろうか。それによっても、統合するのか、三沢小学校みたいに小学校を残すために、町でみんなを守ろうという感じでやった方がいいのか、そうするとまた方向性が変わってくると思う。各学校を残すのか、統合するのか、地元の方には聞かなくていいのか、どうなのか。</p>
委員長	<p>この会議は、学校規模と学校の配置とその2つを</p>

美里町全体で考えて、答申を出して欲しいと、教育委員会から諮問を受けている。まずはきちっとした議論と根拠の下に、先ほどの2点について答申を出していく。そしてその答申について、色々な方が理解を示していただけるような答申にするのが我々の使命だと思う。いろんな考え方があられる場合は併記ということも考えられると思う。当然、生活というのがそこにはある。学校というのはこれまで地域の文化、核として担ってきたという部分もあるので、そういったことも加味しながら、我々は今後考えなくてはならない、先ほど委員が言ったように、かなり重い仕事になってきている。PTAの会長という立場で出席している3名には保護者の声を聞いてきて、ここで出していただければありがたい。また、区長には地域の声を出してもらいながら、進めていきたい。地域というのは、学校がなくなるのは嫌だから、守りたいというふうに思われると思うが、ここは委員の皆さんが冷静な立場で考えていただかねばならないので、きちっと将来を見据えて、誰もがああそうだよなと思える答申にしていければいいんじゃないかと、私自身は考えている。

教育長、答申についてはアンケートを取る予定と聞いているが、その辺はどうか。

教育長

検討委員会を何回やるかは置いておくとして、今後の予定としては、学校教育施設の配置等のあり方、学校適正規模等のあり方について、アンケートはとっていきたいと考えている。教育委員会が検討委員会に諮問をしているので、ここで十分検討し、その結果を教育委員会に答申をしていただき、それを基に教育委員会と町長部局とも協議しながら、計画を作っていくと考えている。おそらく計画の段階では説明等を行うことになると思う。ここで検討したから即どうのこうのではない。答申頂いたものをベースに町長部局とも検討しながら適正規模の計画を作り、公表という形になると思う。今のところそう考えている。

委員長	<p>3人の小学校の校長からすると、学校がなくなるというのは、非常につらい立場だと思うが、冷静に考えてもらって、適正規模がいいのか、今のような状態が続くのがいいのか・・・見方によって良い悪いはあると思うが、校長の立場から子供のことを考えて、それぞれ人数が違うので意見が違うと思うが、ご意見をいただければと思う。</p>
委員	<p>大変難しい質問である。いろいろな考え方があると思うし、美里は昔からの伝統が各校に150年近く残っている。ただ、現状と今後を考えると、少子化になったときに、少人数学習の方がいいか、ある程度多人数がいいか、クラス分けできるようなクラスであれば、生徒指導上の問題とかを考えたとき、いろいろな対応の仕方があるが、クラス替えがなく持ち上がりとなると、6年間そのままの状態が上がっていく。ましてや、中学校が1クラスになると、9年間そのまま上がってしまうということが出てくるかもしれないことを考えると、適当な時期にそういったことも考えての1つの方策としては、いいのかなと思う。</p> <p>先ほどの三沢小学校の例を見ると、かなり手厚く町で人を入れていて、授業のサポートをしているが、人を付ければいいということではなく、子供たちの学習権を保障するため、ある程度授業内容を考えていかなければならない。大きな市と同じくらいの人を配置しているのはすごいなというふうに感じた。</p> <p>それから、城山学園の小中一貫校は、先ほど小学校の方に中学校から理科の専門の先生が来て、授業のサポートをしてくれるという説明があったが、逆に小中一貫校を考えていった場合、中学生に何かメリットが出てくるのか。例えば部活の応援に小学校の先生が入るから、子供の数は少ないが、ある程度充実した形で指導がされていて、子供たちはすごくいいというのが出てくれば、中学校のメリットにもなる。ただ勤務時間うんぬんが言われているから、</p>

	<p>なかなかその辺のところに関わっていくのが難しいことだとは思いますが、小中一貫校にするとなると、小学校のメリットだけでなく、美里町の子どもたちのためにということで考えれば、やはり中学校のメリットというものも何か考えていくのが大事なのかなと、個人的な意見としては感じた。</p>
委員	<p>本当に難しい問題だと思う。近隣の地域、例えば神川町だと、神泉中学校と神川中学校の合併というものがあつたし、その後は小鹿野町では新小鹿野中学校が1つとか、これは中学校の例だが、統合するにあたっては、親の意見と地域の方の意見の食い違いがあるだとか、これは私の友人から聞いた話でありはっきりしたものではないが、なかなか難しかったという情報は得ているので、やはりこの会議がとても重要な会議であるなど、皆さんの意見を聞いていて思った。</p> <p>子供たちのことを一番に考えると、ある程度の人数的中でしっかりと学ばせるということが、適正な学校の中の教育というものには必要なのかなということは心の中で強く思っている。そうすると、これから美里町の子供達が、今後10年・20年とどれくらいの人数的推移が変わるのか、それによって何学級なのか、今は40人学級何クラスということになるが、そうすると、合併して何クラスになるのか、1クラス何人くらいになるのか、そういうことも考えていくと、1つにまとめることのメリット・デメリットを考えられると思う。教職員の数もある程度いて、町も支援が何人くらいできてくるようなことも具体的に考えられると、また変わってくるのかなと思う。</p>
委員長	<p>ちなみに、この前頂いた資料をもう1回見直してみると、2026年、6年後だが、松久が22人、東児玉が30人、大沢が11人、合わせて63人である。6年後なので1歳児の数が出ているのだと思うが、63人。今1年生は84人なんです、20人減ってくるというようになってくる。</p>

委員	<p>本校はまだまだ、少子化で減少傾向にある学校だが、本校なりの魅力的な部分も確かにある。保護者の方も含めた地域の方の絶大な協力なしに成り立ってはいないが、今日頂いた情報の中で、教えるという立場から感じたことであるが、複式という形だけは避けたいというのが今日一番感じたことである。1つの学年を1冊の教科書で1年通して指導していく中で、職員も頑張っており取り組んでいるが、それなりに苦勞もある。そこにもう1学年入っての指導というのは、三沢小は本当にご苦勞頂いているんだなと切に感じたところである。この複式というものを避けるためにはどうするかというのを、今日の話の中で一番考えていかなきゃならないと感じた。</p>
委員長	<p>ここで、今日のところを3つ確認させていただきたい。</p> <p>1つ目は、美里町の子ども数は今後減っていく。先ほども申し上げたとおり、2026年、6年後には入ってくる1年生が63人、2クラスがやっという状況になっていく。これが現実である。</p> <p>2つ目は、もし今後、このような形をこのまま残すとすれば、町費による職員の配置等でかなりの費用負担がかかるということ。</p> <p>3つ目は、こういった事実を保護者の皆さんがどう考えているかという部分、地域の方がどう考えているかという部分を我々がアンテナを高くして、耳をダンボのように大きく開いて聴き取っていくのが大切だと私自身は考えている。皆さん同じような気持ちであるか。</p> <p>今後そうなると、当然今のような数字の根拠というのが必要になってくるし、数字の根拠を基に、一定の方向性を出していかなくてはならないと思う。教育委員会の皆さんには、もう少し詳しい今後の児童の推移、かかる費用といったものを、提供いただけるようになるのかなと思う。そうしないと、今後方向が定まらないと思っている。是非、我々がきちっとした根拠によって答申が出せるよう協力いた</p>

	<p>だければと思う。それと先ほどの3点目、会長さん方には何気なく保護者の声をたくさん聴いてきていただきたい。また、区長さん方には地域の声をたくさん聴いてきていただければありがたいと思う。今日の議題は、教育委員会の事務局の方で、坂戸の城山学園と皆野の三沢小の視察をして頂いた。その報告を中心に、その感想から我々の方向性を探っていくという内容であった。</p>
委員長	(3)その他について、事務局の説明を求める。
事務局	<p>まず1点、最初の会議だったと思うが、今回の城山学園の他に、春日部の江戸川小中学校についても視察に行ってくるという話であったが、そちらの日程調整が完了し、来年になるが、1月19日に事務局職員で視察に行ってきたと考えている。</p> <p>基本的に城山小中学校にした質問を同じようにして来るが、加えて、江戸川小中学校に質問等があれば、併せて伺っていきたいと考えている。もしあれば伺いたい。</p>
委員長	<p>来年1月19日に、春日部の江戸川小中学校の視察に行ってくるということで事務局が考えているわけだが、ここは聞いておきたいというのは、今日委員が言ったように予算・費用、この辺については聞きづらいとは思いますが聞いてきていただきたい。</p>
委員	<p>この春日部の学校の場所は見当がつくが、先ほど申し上げたのは、数行くのではなく、一番我々が求めている、近いといったところを見たい気がする。</p>
委員長	<p>繰り返しになるが、江戸川小中学校というのは、旧庄和町、大夙で有名な庄和町にある。小学校が2校、中学校が1校の3校で義務教育を構成している地域であった。年々、子供の数が減ってしまい、地域の何とか残したいという思いから、春日部市教育委員会の方で、義務教育学校を考えた。地域の皆さんも義務教育学校という形で小中を1つにして残してくれるのであれば、地域の文化の核が残るからということで納得してもらい、協力してもらい、こ</p>

	うなった。埼玉県内では、義務教育学校はここ1校である。もちろん校長1人、先生方もできるだけ小中の免許を持った先生を配置して、やるような仕組みになっている。非常にその辺は複雑なので聞いてみないと分からないが、中身についてはまた視察でお願いしたいと思う。
事務局	続いて、次回の会議の日程調整をさせていただきたい。事務局案をお示ししてよろしいか。
委員長	了承。
事務局	1月15日の金曜日を考えている。 今、次回の内容を考えているところで、まだ調整ができていないところもあるが、前回大沢小を見た時、東児玉小との比較をさせていただけたらという意見があった。東児玉小の視察も入れられるようなら、ここで行い、先ほどからの話の費用面とかについても次回示すことになると思う。調整がついて、学校の視察等を含める場合、前回の大沢小と同じような日程案・時間になる。
委員長	我々は美里の小学校をきちっと見て答申を出さなくてはならないので、大沢小を見たのであれば、松久小も東児玉小も見るべきではと思う。こんなコロナ禍ではあるので、半々に分けて途中で交代するか、A班は松久小・B班は東児玉小、途中で入れ替えてみるとか、そうやって3校きちっと見て、最終的に答申の方向にもっていければいいのではと思う。松久小、東児玉小を半々行くような感じは可能か。
委員	見に来ていただくのはいいが、1月15日は予定がいっぱいである。
委員長	日程は少し学校と調整して、1月19日に江戸川小中学校の視察に行くのであれば、その後でもいいかなど。コロナの状況は現在どういう方向に転ぶかわからない。埼玉県北部の方はそんなには感染拡大はしていないみたいだが、それでも県内全体を見れば、3桁に行ったり、また、それを下回っていると

		<p>このような状況である。群馬の方も20人、30人というようになっているので、十分気を付けなくてはならないと思う。</p> <p>事務局には日程を詰めていただき、メールでも何でも、決まり次第連絡していただきたい。</p>
	事務局	<p>日程調整し早めに通知する。1月のこの時期もしくはその後になる。</p>
	委員長	<p>おそらく学校の方は、この1月下旬からインフルが流行りだし、大変になると思うが、対応していただければと思う。それでは後ほど、事務局の方から日程については、ご連絡申し上げるということでご了承いただき、以上をもって議事が終了したということで感謝申し上げ、事務局に進行を戻させていただく。</p>
4 連絡事項	事務局	
5 閉会	事務局	

上記は会議のてん末を記したもので内容に相違ないことを証するため署名する。

令和3年 月 日

委 員 _____

令和3年 月 日

委 員 _____